

家具や建材から出る有害物質を吸収・分解して
長い時間過ごす部屋を、安心できる場所にする優れたもの

取材・文・川口章子 撮影・高野広美 イラスト・長岡伸行

読者モデルのママがリサーチ! お部屋の空気をきれいにしてくれる 『ピンクのせっこうボード』って何?

お子さまとママが、長い時間過ごすお部屋。室内の空気がきれいかどうか、気になりますよね。
今回、シックハウス症候群の原因になる“ホルムアルデヒド”を
吸収・分解してくれる優れたものがあると聞き、リサーチしてきました!

リサーチしたのは
高橋綾子ママ!



読者モデルの高橋綾子
ママ&京ノ介(きょうのすけ)くん(10ヵ月)。「少しでも安全なお部屋で子育てしたいので『ピンクのせっこうボード』に興味津々です!」

せっこうボードって
壁紙の下に
あるんですね!



ショールームを訪れ、「ピンクのせっこうボード」(正式名は『タイガー ハイクリンボード』)の見本を見学。「壁紙の裏まで考えたことはなかったです」と綾子ママ。

子どもが
生まれてから
お部屋の空気に
気をつけるよう
になりました



きれいな空気環境に
このせっこうボードは
とってもオススメ
なんです

営業担当の岸さんから説明を受ける綾子ママ。『タイガー ハイクリンボード』は、従来のせっこうボード(クリーム色)に、ホルムアルデヒドを吸収・分解する機能をプラスした製品とのこと。

『わかった!』 『タイガー ハイクリンボード』に注目の理由

シックハウスの原因

「ホルムアルデヒド」を吸収して分解!

『タイガー ハイクリンボード』は、ホルムアルデヒドを短時間で吸収・分解して、別の安定した物質にする優れたもの。有害物質が再び出てくる心配はありません。空気清浄機やエアコンと違い、ランニングコストやメンテナンスも不要。「ホルムアルデヒド対策」にオススメです。



ショールームに置かれている実験装置。ホルムアルデヒド濃度が0.34ppmである容器の中に『タイガー ハイクリンボード』を入れると、吸収・分解機能により、2時間程度で厚生労働省の室内濃度指針値(0.08ppm)を下回る0.07ppmとなりました。



家具から放散される

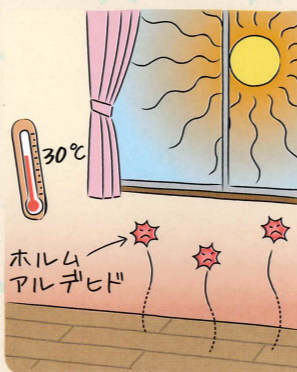
「ホルムアルデヒド」対策に

床などの建材には、ホルムアルデヒド濃度の規制がありますが、家具には規制がありません。「低ホルム仕様」の家具もありますが、一般に流通している家具の中には多く含むものもあるため、ホルムアルデヒドへの対策が必要です。



室温が上がり放散量が増える現象にも対策が必要

ホルムアルデヒドを最も放散しないとされる等級(F☆☆☆☆)の建材でも、室温30℃を超えると放散量が増え、厚生労働省の指針値をオーバーすることが実験で確認されました(吉野石膏調べ)。夏の暑さや、冬の暖房と換気不足で、室内のホルムアルデヒドの濃度が高くなる恐れがあるため、対策が必要です。

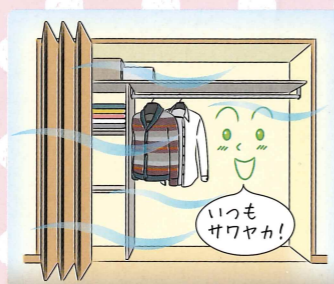


※イラストはイメージです
実際の化学物質は目に見えません

『タイガー ハイクリンボード』の姉妹品 『ハイクリン スカットボード』

“押し入れや収納の湿気”も解決
調湿効果をプラスした壁材

ハイクリンボードに、さらに調湿機能を加えたタイプ。湿度が高い時は湿気を吸収し、湿度が低い時は放出して、一年中室内を安定した湿度に保ちます。湿気がこもりやすい収納内部の仕上げ用には、ハイクリン スカットボードの化粧板タイプがオススメです。



加湿器による湿気で曇った容器で実験。「スカットボード」を使用した箱は、数分で曇りが消えました。

低コストで、きれいな
空気が手に入る!

新築やリフォームをした家で、建材などから出る化学物質により室内の空気が汚染され、頭痛や吐き気、めまいなどの症状を起こす「シックハウス症候群」。原因となるホルムアルデヒドは、建材の接着剤などに含まれます。空気中の濃度が、体重あたり大人2人の2倍、といわれるお子さまの場合、さらに注意が必要。「目に見えないだけに不安です。自宅には空気清浄機や加湿器を置いていますが」(綾子ママ)。今回紹介した『タイガー ハイクリンボード』は、住宅の天井や壁の下地として使われるせっこうボード。広い面積に貼られるため、効果も期待できます。優れた機能があるため従来のせっこうボードよりもぐんと高価かと思いきや「住宅1棟で5万円程度のコストアップとなります」(営業担当・岸さん)。「5万円アップで安心が買えるなら、ぜひ採用したいです!」(綾子ママ)。新築やリフォームの予定がある方は「ピンクのせっこうボード」を検討してみませんか?

※地域や条件により異なります。

